

黒田庄まちづくり協議会より

第184号9月

＜黒田庄子ども見守り活動＞

近年、子どもたちを取り巻く環境は、マスコミ等で報道されているとおり、痛ましい事件・事故が発生し、危険に満ち溢れています。

また、このような事件・事故はいつどこで起きるかわかりません。将来を託されている子どもたちが健やかに安全で安心して生活できることを保障することが、我々地域にできることではないかと思えます。

このような事件・事故の未然防止の一助となるよう黒田庄子ども見守り活動の体制を整え、黒田庄地域全体で子どもたちを見守り育んでいくことが急務であると考え、「黒田庄子ども見守り活動隊」を結成し、子ども見守り活動を推進していくことが重要であるため、平成31年3月20日に黒っこプラザに於いて、黒田庄子ども見守り活動隊発足会を開催し、子ども見守り活動の意志統一を図りました。

黒田庄子ども見守り活動隊発足後、活動隊のメンバーも増え、現在では、107名の方に登録いただいております。各集落で子どもの登下校時に通学路の見守り活動及び「こども見守り隊パトロール中」の車両用マグネットは軽トラック等に貼り付けて、農作業などをしながら集落内を巡回しています。また、福祉送迎車を青色パトロールカーと兼ねて毎週水曜日・金曜日の下校時間に合わせて同乗者とともに楠丘校区・桜丘校区の通学路をパトロールし、見守り活動を強化しています。



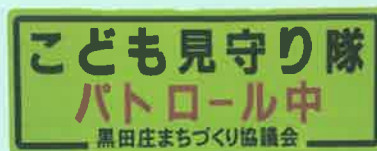
津万井見守り活動



田高見守り活動



青色パトロールカー



マグネットステッカー

編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
令和3年9月15日発行



黒田庄地区の人口

(R3.9.1現在)

男 3,127

女 3,355

計 6,482

世帯数 2,662

人口前月比 (-20)

■「黒田庄子ども見守り活動実施中」ののぼり旗を
通学路等危険箇所に設置されていますが、強風等
で破損している場合は、黒っこプラザに在庫があり
ますので、各集落の活動隊代表者（連絡係）の方
は、受け取りにお越しいただき交換をお願いします。



(くらし安心部会)

(2)

＜山岳ウォーキング・マップ＞

黒田庄まちづくり協議会では、観光レクリエーションゾーンづくりの一環として、白山・妙見山等の山岳ウォーキング・マップを作成しております。マップを配架している施設は、黒っこプラザ・あつまっ亭・日本のへそ日時計の丘公園オートキャンプ場・フォルクスガーデン・黒田庄隣保館です。山岳ウォーキング・マップをご入用の方は、配架している施設にお越しください。

山岳ウォーキング・マップ作成に伴い、令和元年度から令和2年度にかけて登山道の整備を行いました。

令和元年度は、12月15日(日)に黒田庄まちづくり協議会委員と黒田庄まちづくり協議会構成団体の野外活動協会メンバー10名が白山・妙見山登山道の妙見山ルートと前坂ルートの整備(雑木等刈取り)を行いました。

10月30日(水)には登山道整備にかかる事前の現場確認及び登山道目印設営を行いました。



妙見山ルート



休憩中

令和2年度は、12月13日(日)に黒田庄まちづくり協議会委員と黒田庄まちづくり協議会構成団体の野外活動協会メンバー12名が白山・妙見山登山道の門柳ルート・前坂ルートの整備(雑木等刈取り)を行いました。

12月9日(水)には登山道整備にかかる事前の現場確認及び登山道目印設営を行いました。



門柳ルート



前坂ルート

毎年、野外活動協会がご来光登山を実施しているため、事前に前坂ルートの整備をされております。また、黒田集落が妙見堂での行事のため黒田ルートを整備されています。



虹の会工房

就労継続支援B型&生活介護&グループホーム

2018年9月15日に死去された、樹木希林さんの言葉で「あんまり頑張らないで、くじけないで。」が、当時癌の手術で入院中の私を励ましてくれました。あれから間もなく3年になります。健康に暮らしていた時の生活に少しでも問題があった結果としての事だと思っています。

このコロナ禍で、1年以上前の状況に戻ることは有得ないと思います。当時の環境・行動が影響したのではないのでしょうか。ウイズコロナの今、全ての行動を見直す必要が有ると思います。

子どもたち・障害を持った人・老人など弱者にとって暮らしやすい社会が出来ることを期待します
でも、皆さん「あんまり頑張らないで、くじけないで。」 (文責:伏原)

あんまり頑張らないで
くじけないで



暮らしやすい社会ができ
ることを期待しています！

<黒田庄こども園ニュース>

<黒田庄こども園夏祭り>

コロナ禍の中ですが、全ての職員が2回のワクチン接種を済ませ、完璧とは言えないかもしれませんが、感染症予防対策(手洗い、手指消毒・換気等)をとりながら、こども園を開園しています。

今、どんな保育・教育ができるのかを試行錯誤しつつ、子どもたちの育ちに何が必要なのかを検討し、親子一緒に楽しむことはできませんが、園児だけのささやかな夏祭りを企画しました。

そして、【ヨーヨー釣りやスーパーボールすくい】【盆踊り】【DVDでの花火観賞】等々、ささやかな夏祭りを開催しました。

行事食も用意してもらいながら、短い時間でしたが、少し夏祭りの雰囲気に触れることができたのではないのでしょうか。



<スーパーボールすくい>



<クワガタおんど>



<お弁当の昼食>

出来るだけ外を使っでの夏祭りで先生方も大変でしたが、店番してくれた5歳児や、給食室の先生に工夫していただいた昼食を、引換券と交換する姿はとても良かったですよ。



(4)

★津万井地蔵盆★ <津万井老人クラブ>

今年から地蔵堂の管理を任された津万井老人クラブは、今年も例年どおり8月23日(月)午後5時から地蔵盆を行いました。

老人クラブ役員は、午後3時に集合し、5体のお地蔵様を洗い清めるとともに、地蔵堂の拭き掃除、幕及び提灯飾り、お供え等の準備をしました。女性役員は50個の団子を手作りし、お供えしました。

午後5時、東光寺住職の読経で地蔵盆が始まり、参列者全員が線香をお供えしたのち、読経終了により地蔵盆は無事終了しました。

ただ、新型コロナウイルス感染防止のため、昨年に引き続き、今年も地蔵盆(子どもたちの幸せや成長を願うためのお祭り)の主役である子どもたちの参加はなく、数珠繰りも中止しました。子どもたちにはお供えのお菓子を子供会会長から分配してもらいました。

来年こそ、元気な子どもたちの笑顔が見られるようお願いながら、役員一同解散しました。



東光寺住職による読経



地蔵盆の様子

(参考)

平成30年発刊の「津万井概史」によると、津万井の地蔵堂は、昭和8年頃から12年頃にかけての県道改修に伴い、現在の場所に移転したとされています。



津万井概史

編集後記

東京2020パラリンピックが8月24日(火)に開幕し、9月5日(日)に閉幕しました。開会式を除いた12日間の競技を終え、日本が獲得したメダルは、金メダルは13、銀メダルは15、銅メダルは23と、合わせて51個に上りました。過去2番目に多いメダル獲得です。

五輪同様に新型コロナウイルスの影響で一年延期となり、緊急事態宣言下で原則無観客の開催だったが、世界中から集った障害のある約4400人の選手が個性や能力を発揮。多様性を尊重し合う「共生社会」の意義を発信したのではないのでしょうか。

Y. I